ロータリーに輝きを

Weekly 尾張旭ロータリークラブ

集まろう・語ろう 楽しもう

・会　長　古橋　裕志　・幹　事　仲澤　昌容　・クラブ会報　福岡　健
・例会日　毎週金曜日 12:30　・例会場　〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
・事務局　尾張旭市商工会館　TEL 0561-54-1263　FAX 0561-54-8915
E-mail：jimu@owariasahi-rc.org　URL：http://www.owariasahi-rc.org

本　日　第2122回　2014年10月3日（金）　No. 2008

本日のプログラム　Today's Program

点　　鐘

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

卓話担当者：舟橋　龍秀米山記念奨学委員長

卓　話　者：地区米山記念奨学委員
山田　直樹君（尾張旭RC）

演　　題：「米山記念奨学月間に因んで」

前　回　第2121回　2014年9月26日（金）　記　録

○斉　唱：「それでこそロータリー」
○ゲスト：東尾張分区　ガバナー補佐
瀬戸ＲＣ　加藤　令吉君
RID2760地区　地区副幹事
名古屋瑞穂ＲＣ　馬場　將嘉君
東尾張分区　分区幹事
瀬戸ＲＣ　松本　哲也君
○来訪者：なし
○出席者：会員25名中15名出席　出席率60.00％
前々回補正出席率　９月26日分100％



左より加藤ガバナー補佐、馬場地区副幹事、松本分区幹事

会長あいさつ　古橋　裕志

今年は2014年　60年前は1954年（昭和29年）60年と言いますと人間で言えば還暦を迎え一つの節目となります。この時代は、吉田茂内閣から鳩山一郎内閣に移行する時期で、現在の基盤を築いた初期の段階へ入る訳です。



最近マスコミ等で60周年　○○周年とよく聞かれます。その例がゴジラ生誕60年、この誕生はビキニ環礁の水爆実験、第五福龍丸の件とともに世界初の原子力発電所がソ連で開始され、また、国内ではＪＡ全中、ＪＲＡ（日本中央競馬協会）、自衛隊創設等、民間企業においても、数々あります。その60年後の現在では国は、一つの改革に向けています。ＪＡ全中の農協改革とＴＰＰ交渉、ギャンブルに関するカジノ解禁法案の審議、そして我々国民が問題にしている集団的自衛権等、国民に直結している問題ばかりです。これも一つでしょうか。

さてそれから、10年後といいますと、日本の高度成長期に入ります、池田勇人内閣の時代です。1964年（昭和39年）東海道新幹線の開通、東京オリンピックの開催等またそれ以上に国民に夢を与えた、「所得倍増計画」我々の生活様式を変えた三種の神器、歌の題名ではないですが、「遠き昭和の灯りが恋しい」

さて、ロータリーに目を向けますと1954年-19

職業奉仕・米山奨学月間

	１０月１１日（土）	１０月１７日（金）	１０月２４日（金）	１０月３１日（金）
例会予定	10日(金)振替 尾張旭市民祭協賛 苗木無料配布 於スカイワードあさひ イベント広場南	卓話担当者： 井田　武憲君、 桜井　雅博君。 演題：「東北支援報告について」	卓話担当者：舟橋　龍秀君 演題：「お茶の話」	卓話担当者：西尾　輝久君 演題：「歯科界について」

55年　年度のＲＩテーマ　六つの綱領が発表されています。
１．過去に学んで行動せよ
２．他人と分かち合え
３．ロータリーの四つのテストで身を固めよ
４．青少年に対する奉仕
５．国際親善
６．良きロータリアンは良き市民である
当時のＲＩ会長　ハーバードＪ・テーラーです。締め言葉としまして、孔子は弟子に対して、国を安定させる条件は、軍備、食糧、信義の三つをあげ、その中で軍備と食糧はやむ得ず犠牲にして良いが、信義がなくなると人間社会が成立しないと説いたそうです。
「民は信なくんば　立たず」
本日も有意義な一日を

幹事報告

・9/19　第４回ＯＦＤＹ委員会　於商工会館　古橋エツ子委員長以下７名出席。
・9/22　尾張旭市まつり実行委員会　於尾張旭市中央公民館　古橋裕志会長出席
・本日の会合：第４回クラブ協議会
・次回の会合：第７回理事役員会
・例会変更のお知らせ：掲示板をご覧ください。

ニコボックス

○本日はお世話になります。よろしくお願いたします。
東尾張分区　ガバナー補佐　加藤　令吉君
東尾張分区　分区幹事　松本　哲也君
○ガバナー補佐訪問で一日お世話になります。
地区副幹事（名古屋瑞穂RC）　馬場　將嘉君
○東尾張分区ガバナー補佐　加藤　令吉君、地区副幹事　馬場　將嘉君、東尾張分区分区幹事　松本　哲也君、ようこそおいで下さいました。
古橋　裕志君、仲澤　昌容君
飯田　幸雄君、井田　武憲君、江尻　豪君
加藤　勇夫君、加藤　清久君、小柳　和之君
谷口　伸夫君、冨田　晃君、西尾　輝久君
福岡　健君、箕輪　良孝君、山田　直樹君

会長幹事懇談会





△ご指導をいただきました。

卓　話

RI第2760地区東尾張分区
ガバナー補佐　加藤 令吉



ロータリー活動の原点は出席です。毎週一度の例会に出席してR.Cのその日のスケジュールを過ごすだけではなく、その前後の時間にあらゆる内容について語り合ったり調整する時間が生まれるのです。それはR.Cの成り立ちの際に基本であった一業種一会員といった厳格な会員選考の中に存在する価値観であったと思います。業界同士の打合せではなく、その会員の持つ職業におけるプライドと責任感の中で異業種と情報交換したり、親睦を通じて友情を育み高め合って行く事であると考えます。ですから「ロータリーを楽しく」という意味の裏側には単に娯楽をするという楽しさではなく、会員同士がお互いの人格を尊重したうえで、又、自らの職業に責任を持ち、豊かな人的交流を継続して行く事が基本であります。しかし昨今はメークアップの期限が以前は１週間であったのに今は２週間です。「出席」を尊重してきたR.C活動の幅が徐々に変わってきました。私が入会した頃はサインのメークアップは最後の手段で「とにかく近隣のR.Cあるいは出張先で探してその地域のR.Cにメークアップとして出席しなさい」という教育を受けてきました。各クラブにいくつも残っているバナーがその証しのひとつであります。私のクラブのメンバーでも海外との取引をしている会員、旅行が趣味でよく海外へ出掛ける会員が現地で交流してバナーを多く持ち返っています。

ところが時代も大きく変わってこの頃はＥクラブなるR.Cが認められ、私達の現在の東尾張分区に加わって参りました。R.Cの例会をパソコンのウェブ上で行うという、いわば現在の電脳文化の象徴ともいえるスタイルです。お聞きをす



る所によりますと、どこかの地区でＥクラブのメンバーがガバナーになられたという実例もあるようです。我が東尾張分区でもその内にガバナー補佐が誕生する可能性が充分にあるという事です。今後はこのＥクラブの皆さんとどのようにして交流して友情を深めて行くかを共に考えて参りたいと存じます。

さて、話は変わりますが、私の出身地瀬戸は皆さまご承知のようにやきものの街です。それも、とてつもなく長い歴史を持ち、あらゆる種類のやきものを誕生させてきました。古くは縄文・弥生の時代の物も発掘されていますが、実際に瀬戸のやきものの本来の存在を示した時代は中世、鎌倉・南北朝・室町の各時代です。平安時代に近畿から名古屋、猿投を経て、平安末期に瀬戸でいわゆる「瀬戸窯」というものが成立しました。おそらく大量に埋蔵されている粘土や高カロリーの雑木が燃料に相応しく陶器の生産地として条件が良かったのでしょう。ここでは仏教での交流を下に、入って来た中国の陶器をお手本としたやきものが盛んに造られました。これらのやきものは日本各地で中国のやきものを手に入れる事のできる貴族や豪族等いわゆる裕福な人々がこぞって買い求めたといわれています。つまり中国製品のコピーといえども高級陶器として流通していた訳です。６月まで瀬戸市美術館で開催されていた「古瀬戸の全貌－瀬戸焼の黎明と発展－」の展覧会に非常に素晴らしい展示がされていました。これは2005年の愛知万博を記念して当時の愛知県陶磁資料館（現在は愛知県陶磁美術館）で企画もされた事ですが、お手本になった中国のやきものと瀬戸で生産されたやきものが並列されました。これは大変素晴しく見る事ができました。それも中国で13世紀に造られたものを瀬戸では14世紀に生産していました。100年の年月を経ての生産です。この間、何があったか定かではありませんが、とにかく夥しい数のやきものが生産され日本中に分布しました。北は北海道余市、南は宮崎県都城。余談ですが北限のウィスキーの生産地、南限の焼酎の生産地と、共にお酒を造る地というのは何か奇妙な縁を感じます。生産されたやきものは寺道具としても大きく使われ、仏前に使うのみならず、骨壺としても多く使われました。発掘調査では東北から中国地方まで多くの墓地の跡から人骨の入った瀬戸製の壺が発見されています。そんな中世の時代が過ぎ、安土桃山時代になると陶芸の中心は尾張の瀬戸からお隣の美濃へ移ります。この地は戦国武将でありながら茶人でもあった織部（古田織部重然）の指導による織部好みの茶道具が多く造られました。時に京の都では利休の好むシンプルな黒楽等の茶碗が主流でしたが、織部は純に歪みを美と捉えて不定形の茶碗を多く造らせ茶碗の器面に大胆な絵付けをするなど奇抜なやきものを多く世に出し、京の茶人達を驚かせその作は飛ぶように売れたといいます。そんな頃、利休も美濃の地を訪れ自らもやや歪みを持たせた瀬戸黒の茶碗を造らせています。それは少なからず利休も弟子の織部の作風を認めていたのでしょう。そんな栄光の安土桃山時代の織部の時代は長く続きませんでした。徳川家康の戦術を漏らした事を理由に織部は自害を命じられたと同時に織部の窯場は全て破壊されてしまうのです。その後、江戸時代の中期に瀬戸では織部焼をまねたいわゆる復興織部の時代がやってきます。どうやら現在良くいわれている「瀬戸焼」というのはこの時代のやきものの印象が深く、日本各地で「せともの」といわれるはじまりと思われます。しかし私の自論は瀬戸のやきものの原点は中世、鎌倉時代の物だと確信しています。何でもそうでが、原点を知り、原点を大切にする。それが人の成長するための基本だと思います。ここにお集まりのロータリアンの皆様、原点を大切にしてお互いに素晴しいロータリーライフを過ごしましょう。本日はご清聴有難う

ございました。

第5回クラブ協議会記録

日時　2014年9月26日（金）13:40～
場所　尾張旭市商工会館　第一会議室
議題１）委員会報告（ガバナー補佐への質問）
出席者　加藤　令吉ガバナー補佐
　　馬場　將嘉地区副幹事
　　松本　哲也分区幹事



≪各委員会・委員長報告≫

クラブ管理運営委員会

副会長・会長エレクト・OFDY委員長
古橋エツ子　代理　仲澤　昌容

副会長・会長エレクト
副会長は、初めて設置された役目のため、ご教示、ご助言などお願いいたします。
会長エレクトとして、会長をサポートする際に一番大切なことは何かをご指導ください。

加藤令吉ガバナー補佐からの解答
自分の考えを明確にし、前年度の良いところは取り入れ取捨選択する。無理に自分の個性を出す必要はない。

クラブ運営委員会
限られた人数でクラブ運営をしなければならない点が課題です。
先ずは会員増強ですが、お気づきの点がありましたらご助言ください。

加藤令吉ガバナー補佐からの解答
いたずらに増やすのは良くない。入会後のサポートが大切である。若いメンバーも交えて入会をすすめるのが良いのではないか

ＳＡＡ（会場監督）・会場・出席
委員長　西尾　輝久

最近会員が２５名と減少しており、クラブ管理運営委員会所属の委員会にも少なからず影響が出てきております。何か対策はないでしょうか

加藤令吉ガバナー補佐からの解答
最近どのクラブも同様の意見を多く聞きますが、例えば岩倉ＲＣでは１６名と少ない人数ですが９２才の会員を筆頭に全会員がはつらつとして活気あるクラブ運営を行っておられます。ぜひ見習って下さい。

ニコボックス委員会
委員長　江尻　豪

ニコボックスはクラブに欠かせない財源で心の潤滑油になっていることは実感しております。
ＲＩ会長は「ロータリアンは人に寄付をお願いして自分のお金は銀行に残したままの方はおられないでしょう」と言われました。その点は十分理解できます。クラブ計画書に前年度の実績を上回る目標を掲げ、クラブの「ベストクラス（最高の同期）」を目指すため、新人ニコボックス委員長として先ずは自分自身から率先したいと心がけています。しかし受付以外に次の行動を起こせません。ローソクの灯をより多く広く輝かせるための助言をいただきたいと思います。

加藤令吉ガバナー補佐からの解答
ニコボックスの集まりで、ガバナー補佐より、教えてもらいました。皆さまより色々な「情報を得る事です。」この事をふまえて活動していきたいと思います。

親睦活動委員会
委員長　加藤　清久

先年度、尾張旭ＲＣは、地区研修･協議会を担当し、成功裡に終了することができました。
そのなかで、培かわれた団結・協力の精神が今期も引き継がれてきていますので、この精神を大切にして親睦活動に生かしてゆきたいと考えています、ガバナー補佐のご意見をお願いします。

加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
クラブの親睦は、単なる飲み会・親睦会のみでは意味が無い。会員が、奉仕活動・クラブ行事等をとおして事業の成果をあげ、そのなかで親睦を深めることに意義がある。それでよろしいと考えています。

財務（会計）・会員増強委員会
委員長　谷口　伸夫

会員増強は最重要課題であります。当クラブでも1993～94年、1995年～96年度一時70名の会員が入会されていました。あふれんばかりの活気がありました。もう一度この活気が必要です。増強委員長として責任もあります。一年間頑張って会員の増強に努力したいと思います。
また、色々な面でご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

加藤令吉ガバナー補佐からの解答
会員増強に努力して下さい。

職業分類委員会
委員長　桜井　雅博　代理　仲澤　昌容

会員増強委員会と連携して、新規会員の獲得・増員活動と新人会員・既存会員のフォローに努めたいと思います。
活動計画として

１．職業分類別会員表を検証して、均衡のとれた会員構成になるように努める。
２．未補填部門を重点的に増強するよう、会員増強委員会と連携を密にするよう努める。
３．新しい職業分類については、会員に告知するように努める。
　地域の活性化に向けて、活力のある会員構成を目指していきたいと思います。

＜質問＞
　新しい職業分類があれば、教えて下さい
加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
　未充填の職業分類が本当にターゲットにあるのか。分類の見直し、新しい分類を探したらどうか。



会員組織委員会
会員選考委員会・直前会長（ロータリー情報）
委員長　　箕輪　良孝
　新会員のためのテキストで良いものをあれば紹介下さい。
加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
　クラブ周年記念誌を読んでもらうことも良いのではないか。

クラブ広報委員会
クラブ会報・広報・資料保存・雑誌委員会
委員長　福岡　　健
①メディアの協力を得て、活動をしていますが、更に範囲を広げたいと思います。
加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
　尾張旭市内に、新聞各社、記者クラブがあると思いますので、事業の事前情報を届けると各社が掲載してくれると思います。
②広報と宣伝とは違うと思いますが、いかがでしょうか？。
加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
　違うと思います。

奉仕委員会
職業奉仕委員会
委員長　　福岡　健
　今年度の会長方針に従って、「市民講座」を計画しました。職業の専門知識と経験を持ったクラブメンバーを講師として、市民の皆さまを対象とした、無料講座を開催します。これこそ、職業奉仕活動かと思いますがいかがでしょうか
加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
　その通りです、どうか末永く続けて下さい。

社会奉仕委員会
委員長　井田　武憲
　2012年７月（千田ガバナー年度）ガバナー方針の一つとして東日本震災被災地高校生支援事業「つなごうＯＮＥ　ＣＯＩＮで心の輪を！」の募金依頼がありました。
　当クラブでは、支援口数１１人分の割り当てられ１１名から寄付金を納入しました。地区組織に「被災地高校生支援委員会」を設置したとありましたがその後の報告がないため状況をお聞きしたい。
加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
　状況を把握していないためガバナーにその旨を報告し、ガバナー訪問時に解答します。

青少年奉仕委員会
委員長　菊田　利昭
　他クラブで行っている青少年奉仕活動の具体例を教えて下さい。
加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
　青少年に感動を与えるきっかけを提供する活動をすると良いのではないか。例えば瀬戸ＲＣではさくらんぼ学園の肢体不自由児を対象に陶芸教室等を開催している。尾張旭ＲＣも４ＲＣで一緒だから、瀬戸ＲＣ等と共催することも考えていいのではないか。

国際奉仕委員会
委員長　山田　直樹
　・小クラブゆえになかなか予算がつかない中で、地区に頼らないで独自の活動を目指したいと思います。具体的には市内在住の外国人特に事前の日本語の勉強等充分にできなかった人々と考えていますが、その援助をしたいと考えています。その他、良いアドバイスをいただきたいと思います。
加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
　団体の背景を確実に調査して行って下さい。継続事業にするかどうか慎重に調べて下さい。

ロータリー基金委員会
ロータリー財団委員会
委員長　飯田　幸雄
１）ロータリー基金委員会：
　　ＣＬＰプランを採用しているので、「ロータリー財団委員会」と「米山記念奨学委員会」とが小委員会として、形式的に傘下に入った委員会であるので、本年度の方針および活動計画は夫々の委員会にお任せし、それを統括することで、その責を果たしたい。
２）ロータリー財団委員会としては、クラブ全

会員に、ロータリー財団の現状についての理解を深めるように、機会あるごとに広報活動を続けたいと思っている。
３）ＲＩ財団への寄付について、わがＲＩ　２７６０地区では、「会員一人当たり１５０ドルを」と要請しているので、会員各位に、ご理解ご協力をお願いしたい。
４）ＲＩ財団から毎年還元されてくる地区補助金について、わがクラブ内の他の委員会とともに、その有効利用を検討・協議をして行きたい。

米山記念奨学委員会
委員長　舟橋　龍秀　　代理　山田　直樹
・会員の方々により多くの特別寄付金をいただくための方法。
・米山奨学金の意義を十分理解していただきたいための資料の使い方
・寄付をお願いする際の効果的な説明の仕方。
加藤　令吉ガバナー補佐からの解答
会長幹事がその寄付の正当性を説明すること。地区から届く資料を使う。



今月は職業奉仕月間

「弁護士の職業奉仕 」

職業人であるロータリアンは、その職場を奉仕の場と考えるのは当然であり、それが成功へいたる最短距離でもある。元ＲＩ会長ホッヂス氏も職業人として立派に成功してこそ他の奉仕も可能であるといっている。
「職業を通じての奉仕」「商取り引きと売り手と買い手の双方が満足して初めて成功する」「事業は利潤を得る途であると同時に、社会に奉仕する途である」「利潤は求むるものでなく与えられるもので、その仕事に関係した人々に洩れなく与えられる天恵である」これらの言葉が職業奉仕の内容を単的に語るものであろう。
１．最近では、倒産、破産がますます多くなっております。そのため、私どもにこのような事件の依頼が多く、毎日のように債権者から苦情や詰問の電話がかかってきます。
支払らえなくなった原因がどのようなものであれ、このような状態になったものが、裁判所へ破産の申立てをすることができるのは、一種の権利です。
ただ、債権者にとっては、貸した金が戻ってきこない、売った商品の代金が回収できないことは何ともやりきれない、不合理であることは間違いありません。
そのため、依頼者の利益を最大限図るのが私どもの努めといっても、債権者や、あるいは依頼者の倒産によって迷惑を被った人々の事も、全く考えないわけにはいけません。
２．私どもの業界にも、「弁護士倫理」という職業倫理があり、業務を行うにあたり、いろいろ戒めの文言が書いてあります。たとえば、依頼者との関係における規律として、「弁護士は良心に従い、依頼者の正当な利益を実現するように努めなければならない」とされておりますし、また、事件の相手方との関係における規律として、「弁護士は相手方から利益の供与若しくは供応をうけまたはこれを要求し、若しくはその約束をしてはならない」と書かれております。
いわば当然の事が書かれているにすぎず、通常に業務をしている場合には、特にこれに抵触することはないと考えてきました。
２．ところが最近は、弁護士の数も増え、広告等の規制も緩和され、競争原理が入ってきました。
これまでに依頼者との間で最もトラブルが多かった報酬をめぐる問題では、今までは弁護士会という業界団体が報酬基準を定めてくれ、これを目安に請求しておれば、特に倫理には反しないとされてきました。
ところが今回、報酬基準がなくなり、各弁護士が自由に自分で報酬基準を定めることができるようになりました。私ども業界も、一種のギルド社会として、特権で守られてきたものが、自由競争の場に身を置くことになり、これからは自分で自分を律して業務を行うことが必要となってきました。
ロータリーの「職業奉仕」とは、単に自分の職業をきちんとやっておればよいと思っておりましたし、特に「職業奉仕」を念頭に置いて業務を行ってきたわけではありませんでした。
今回、改めてロータリーの「職業奉仕」、その理念が凝縮されている「四つのテスト」を読み返し、特に「四つのテスト」にある「みんな」とは漠然とした「みんな」ではなく、関わりある人たち、利害関係のある人たちを意味するとの解釈を聞いて、私どもの職業指針である「弁護士倫理」と予盾せず、共通性があると理解できました。
私どもの業務も、これからは自ら律しながら行っていくことが要求されていくなかで、「奉仕の理想」「四つのテスト」を念頭に、依頼者の利益を最大限に図りながら、可能な限り、合意的調整ができるよう業務を行っていきたいと考えています。
（2003～2004年度　職業奉仕事例集より）